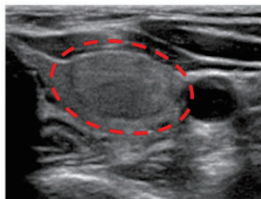
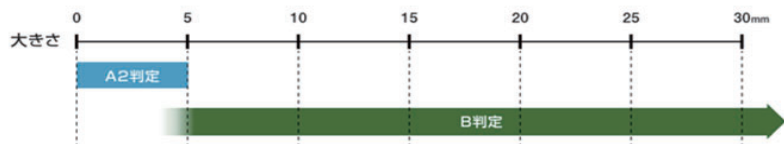


結節はしこりとも呼ばれ甲状腺の細胞が変化したもの



・結節には良性と悪性（がん）があるが多くは良性。

<甲状腺がんについて>

- ・生涯にわたり健康に全く影響しない「潜在がん」が多いがん。
- ・それら潜在がんの多くは5mm以下の小さなもので、それらを発見して治療することは、患者にとって不利益になる。
- ・よって、5mm以下の結節については詳細な検査は行わないのが一般的。

<県民健康調査 甲状腺検査では>

- ・5mm以下の結節は二次検査は行わず、次回の検査で経過観察をすることとしている。
- ・ただし、詳細な検査を要すると判断されるものについては、5mm以下でもB判定とし、二次検査受診を勧めている。

甲状腺検査についてのQ&A（福島県立医大放射線医学県民健康管理センター）より作成

結節はしこりとも呼ばれる、細胞が変化した塊です。良性と悪性（がん）がありますが、多くは良性です。

甲状腺がんには生涯にわたり健康に全く影響しない潜在がんが多いがんとして以前から知られています。それらのほとんどは5mm以下の非常に小さいものです。それらを発見して治療することは患者さんにとって不利益になると考えられています。そこで、一般的に5.0mm以下の結節は細胞診などの詳しい検査を行わないことが推奨されています。県民健康調査における甲状腺検査でも、それに準じて5.0mm以下の結節は二次検査は行わず、次回の超音波検査（一次検査）にて経過観察を行うこととしています。

本資料への収録日：2013年3月31日

改訂日：2014年3月31日

：2015年3月31日

関連Q&A

- ・6章 QA28 「のう胞」、「結節」とはなんですか